

## 平成 23 年 02 月 28 日 「ウサヒ迷路その 2」

掲載日:2011 年 2 月 28 日

### 平成 23 年 02 月 28 日 「ウサヒ迷路その 2」

ウサヒの迷路づくりの続きです。

旅のココロ館のアベさんの思いつきで

ウサヒとトム君は、蔵の広場に迷路を作ることになりました。



ウサヒがつけた道順をトム君が除雪して道にするという作業。

しかし、いまいち息が合わない(上の写真参照)

トムくん 「ごめーん！」

ウサヒ 「目が、目があああ」

アベさん 「遊んでないで、迷路つくりなさい！！」

トム&ウサ 「(迷路づくりは遊びじゃないんだろうか……?)」

( )内は心の声です

とりあえず、まじめに雪を踏んで道をつくることに

しかし、視界の悪い着ぐるみゆえに、ここで事件が！！



一見するとわからないが前方に小さなくぼみがある

(もちろんウサヒには見えていない)

結果



いうまでもなく、足をとられる



残酷な勢いで転ぶ

アベさん 「ウサヒー、大丈夫??」



トムくん 「返事がない、ただの着ぐるみのようだ…」

ウサヒ 「あー、とりあえず、仕事だ！仕事を優先するぞ！！」

ウサヒはそう叫ぶと頭をとって、迷路をつくり始めた。



本気で動くと頭は邪魔



こうして、道順づくりは無事完了

トムくん 「じゃ、ここからは俺が、がんばりますか」



トム君の除雪機がうなりをあげる



雪が硬くてなかなか前に進まないが、

それでも確実に道ができていきます。

作業の進行状況に、

ウサヒも発案者のアベさんも満足していると、

**オカザキさん 「おーい、なにしてんの??？」**

産業振興課のオカザキさんがやっててきました。

ココロ館に書類を届けに来たそうで、

天気なのに雪かきしている奇妙な人たち (& 着ぐるみ) を発見して声をかけたそうです

**アベさん 「大迷路を作ってるんです！すごいでしょ！！」**

**オカザキさん 「おお、そりゃいいね。…あれ？これ下駄スキーじゃん！！」**

終わったら遊ぼうと思っていたウサヒが置いておいた下駄スキーを発見したオカザキさん。

まえに五百川少年教室で作ったアレです。



おもむろに履きはじめる・・・

ウサヒ 「ちょ！それ、ボクもまあ遊んだことないのに！！」



ウサヒの制止を気にせず上っていくオカザキさん

蔵の広場にはそり遊びができる山があります。

オカザキさん 「じゃ、いくねー」

ウサビ 「だめーーーー」



「よっと…」



「おとっと…」



「はい到着！！」

ウサヒ 「…上手い…この人できる」

実際、下駄スキーで傾斜のあるところをすべるのはそこそこ難しい。

なぜなら、下駄スキーは雪のある平地をインラインスケートのようすべる玩具だから。

ウサヒ 「遅れをとってはられない、ウサヒも行くぜ」



元気よく飛び出すウサヒ！！



山頂近くはゆっくり上る



慎重に山頂に到着

ウサビ 「よーし行くね！カメラちゃんと回ってる？」



山頂でスタートをまつ



自分で云うのもなんだけど、なかなか美しいスタート姿勢

(スキージャンプの選手時代に培ったテレマークの技術が生きる)



そしてファンサービス



体制を崩す



非常に残念な転倒（本日2回目）

やっぱり下駄スキーは難しかった…

しかも、ウサビが滑り終わった時にはオカザキさんはいなくなっていた(仕事だから)。

ウサビ 「さて、仕事に戻るか…」



気を取り直して作業再開

といっても、ここからはトム君の仕事を見守るしかない。



ウサビ 「がんばれー」

トム 「(応援されているのに雪をかけたくなるのは何でだろう…?)」

そして、午後3時、ついに道がつながり



ウサビ 「完成！！」

ついに迷路が完成しました。

気になる迷路全景はこんな感じ



**ウサギの頭型迷路！！**

…

…あれ？ぜんぜん迷わくない？

そう思った方！仕方ないのです。

除雪機の性能の都合であんまり細かいカーブは出来ないのです。

なので、雪合戦とかおにごっことかにに使ってください。



ために2人で鬼ごっこしている図

アベさん 「うん、立派な迷路が出来たわね！」

トムくん 「どっちかというUFOが着地するアレみたいですけどね。」

ウサビ 「え？朝日町にもUFOくるの??」

このチームワークで迷路が完成したことが奇跡

なにはともあれ、迷路は無事に完成しました。



トム君と握手するウサビ

トムくん 「じゃあ、またねー」



除雪機はバックで帰っていく

ありがとうトム君。

そして、今回の発案者のアベさんもありがとう。

ウサビはこんな感じに

**「考えはしているけど、なかなか実現させにくい思いつきの企画」を**

ご提案いただければ、

ウサビと中の人でその実現のお手伝いをします。

ぜひ、こんなものを私は作りたい、ボクはやりたいというご希望がございましたら

下のコメントフォームより、

やりたいことと連絡先を書いてご投稿ください。

ちょっと非現実的な企画でも大歓迎です。

ちなみに、今回登場したオカザキさんからは

**「ウサヒをヒーローみたいに変身出来るキャラクターに出来ないか？」**

というリクエスト受けています。検討中です。

こんな感じに、皆さんからのご意見募集中です。